

グリーントピックス

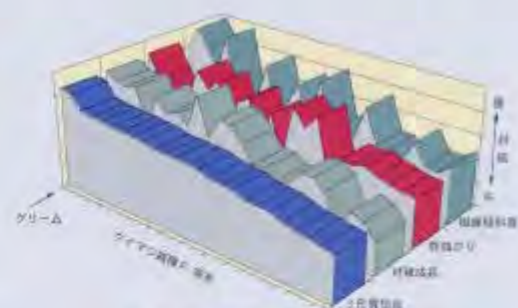
北海道立林業試験場

No.12

グイマツ雑種F₁の優良品種「グリーン」の品種登録



「グリーン」の生育状況（林齢21年）
幹曲りが非常に小さい。



グイマツ雑種F₁家系の評価



繊維傾斜度と製材のねじれとの関係
繊維傾斜度は幹の繊維走行の傾きを表し、数値が大きいと乾燥した時の製材のねじれも大きい。繊維傾斜度2.2%の材が「グリーン」。

グイマツ雑種F₁は、グイマツを母親にカラマツを父親にした一代雑種で、野ねずみや野うさぎの食害が少ない、成長が早い、幹曲りが小さい等の両親の長所を併せ持つ造林材料です。そのため、造林を希望する人が大変多くなっています。しかし、グイマツ雑種F₁の中でも、グイマツとカラマツの交配組合せの違いにより、その特性の程度はそれぞれ異なるのです。

今回、グイマツ雑種F₁25家系について、材積成長、幹曲り、材の繊維傾斜度の主要形質を評価しました。その結果、中標津3号×胆振1号の交配組合せがこれら3形質の総合評価で最も優れた成績を示しました。そこで、この家系を「グリーン」という名称で品種登録を申請し、このたび承認されました。

今後、「グリーン」の大量生産技術の実用化が期待されています。